

# アクアバランサー基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

## 作物名

露地・施設栽培果実

みかん、梨、ブドウ、りんご、キウイフルーツ、ブルーベリーなど

## 使用例 <10 a (1 反)あたり>

時期	使用量	希釈率	使用方法(例)
土作り時	10L	約 100 倍	11 月～3 月 堆肥すき込み時 <b>土壌散布</b> (※期待する効果/ 土壌強化 根張り強化) (※期待する効果/ 有用微生物とその生成物質供給)
			4～6 月 圃場全体に散布 (※期待する効果/ 樹勢強化 土壌強化)
収穫 3カ月前頃	7L	約300倍	月 1 回程度 圃場全体 <b>葉面散布</b> (※期待する効果/ 樹勢強化・品質向上)
収穫前	1L×3回	約 500 倍	

\*使用量、回数、希釈率は一般参考値です

## 使用上の注意

- ☆ 使用量の表記の無い場合、通常の灌水量にあわせて散布してください
- ☆ アクアバランサーと有機液肥の併用で、より効果を発揮します
- ☆ 化成肥料は追肥、補正に使用することをお勧めします
- ☆ 動噴または灌水チューブで散布してください

## 使用効果

アクアバランサー使用生産者から以下の効果が報告されています (※あくまでも個人の感想です)

- ・ 農薬使用量が大幅減少
- ・ 品質が向上した
- ・ 収量の増加
- ・ 根の張りが強くなった。
- ・ 糖度の増加
- ・ 樹勢が高まった

・ 多様な微生物・酵素・アミノ酸・ミネラルの力で痩せた土壌が元気になる好影響をあたえます。  
**●完熟堆肥とアクアバランサーを併用して散布**すると、微生物群がさらに活性化してよりよい効果が期待できます。

\* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。